

長浜秋の曳山巡行

Hikiyama Float Procession

2019年 **10月12日(土)**

曳山博物館・周辺道路

午前9時～午後4時(予定)

※荒天時は2019年11月3日(日)に延期

同日開催

長浜きもの
大園遊会

午前(搬出)

[令和2年 長浜曳山祭 出番山]



春日山



諫鼓山



青海山



月宮殿

午後(搬入)

[令和3年 長浜曳山祭 出番山]



鳳凰山



月宮殿
(曳山修理のため)



狸々丸



高砂山



春に開催していた「曳山交替式」を 今年から、**秋**に開催します。

長浜市曳山博物館は、曳山祭の曳山実物展示を中心とし、多方面から曳山文化を展示紹介するとともに、曳山修理場を併設した、全国的にも稀有な博物館として2000年(平成12年)10月に開館しました。

実物の曳山を展示することから、長浜曳山祭が行われる前に、展示している出番の曳山に代わり、翌年出番の曳山を展示室に収蔵する行事を「曳山交替式」として、毎年、春の祭執行の前に行ってきました。

曳山博物館は開館20年を迎えますが、時代の変遷とともに、祭執行者や、とりまく地域社会情勢も変化しています。曳山祭を未来永劫、保存・伝承し、長浜曳山祭の存在感を広く示すため、春に開催していた曳山交替式を、20周年を契機として秋に移行します。豪華絢爛な曳山8基を曳行する「秋の曳山巡行」として装いもあらたに、各種市民団体のお力添えをいただき、盛大に開催し、春には長浜曳山祭、秋には曳山巡行として、年間2回にわたり長浜曳山祭の魅力を発信、保存・伝承を推進します。



秋の曳山巡行の楽しみ方 <ご紹介>

● 曳山と写真撮影

午後の搬入曳山は曳行中に曳山を止めて、30分ほど展示します。記念に写真撮影をしていただくことも可能です。

※詳細は中面の地図でご確認ください

● 山曳き体験 (一部山組)



※画像はイメージです

【同日開催】長浜きもの園遊会・長浜きものデー

長浜の地場産業である、浜縮緬を復興するため、着物姿でまちなかをそぞろ歩くイベントです。

● 令和大茶会 ～映える和～

● やまぐらりー (曳山スタンプラリー) 他

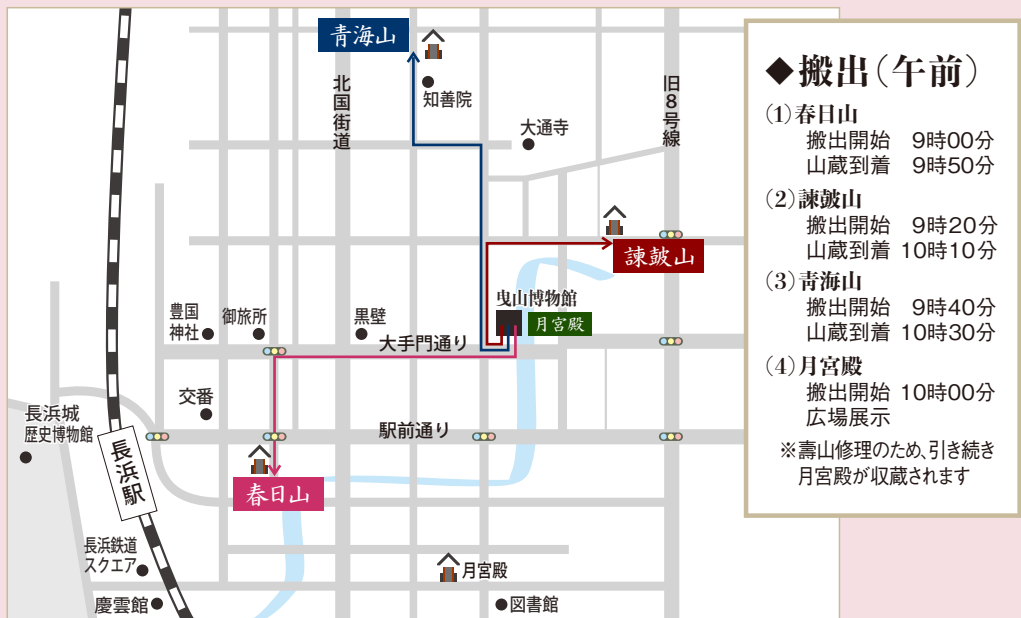


※園遊会参加者の撮影には、カメラマン登録が必要です(登録場所:えきまちテラス、大通寺)

ひきやまじゅんこう
「秋の曳山巡行」(曳山交替式)

令和元年(2019年)10月12日(土) 9時より 曳山博物館・周辺道路にて

※荒天時は令和元年(2019年)11月3日(日)に延期



◆搬入(午後)

- (1) 鳳凰山
山蔵出発 13時40分
(曳山曳行中展示 30分)
広場到着 14時40分
搬入開始 14時55分
- (2) 月宮殿
搬入開始 15時15分
- (3) 狸々丸
山蔵出発 14時30分
(曳山曳行中展示 30分)
広場到着 15時30分
搬入開始 15時45分
- (4) 高砂山
山蔵出発 14時50分
(曳山曳行中展示 30分)
広場到着 15時50分
搬入開始 16時05分



秋の曳山巡行

みどころ1

動く曳山

豪華絢爛な曳山の力強い曳行は見どころの一つ。曳山は、約5トンもの重さがあり、たくさんの人が力を合わせ、「ヨイサ」の掛け声とともに曳山を動かします。



ユネスコ無形文化遺産

ながはま ひきやまつり
長浜曳山祭

開催時期: 4月9日～17日
(子ども狂言: 13～16日)



4月15日(本日) 長濱八幡宮 奉納狂言

長浜曳山祭は、長濱八幡宮(長浜市宮前町)の祭礼として、毎年4月9日から17日の間、長浜の町中で開催される、長浜が世界に誇る祭りのひとつです。豪華絢爛な舞台付きの曳山の上で演じられる「子ども狂言(歌舞伎)」は長浜曳山祭の醍醐味です。曳山の豪華な装飾品とともに、祭本番までに厳しい稽古を受けた子どもたちの華やかな姿と名演技は、多くの人々を魅了します。

秋の曳山巡行
みどころ2

豪華な曳山の装飾品

〳〵一部をご紹介〳〵

春日山



鹿と紅葉の飾金具

月宮殿



長浜の曳山の中で一番美しいといわれる「亭(2階部分)」

諫鼓山



平和の象徴を表した「諫鼓鶏」

鳳凰山



重要文化財の見送幕

青海山



屋根の上の煌びやかな「飛竜」

猩々丸



関羽と張飛の見送り彫刻

高砂山



波の上を走るウサギの飾金具

秋の曳山巡行
みどころ3

しゃぎりの音色

長浜曳山祭に欠かせない音曲にしゃぎり(囃子)があります。しゃぎりは曳山の移動や狂言執行の合間に演奏されるもので、文字通り曳山を囃すための長浜曳山祭特有の音曲です。その楽曲は、基本楽器となる笛に加えて、締太鼓と鉦打太鼓、そして摺り鉦によって構成されます。



篠笛 (しのぶえ)



摺り鉦 (すりかね)



締太鼓 (しめだいこ)



鉦打太鼓 (びょうちだいこ)



長浜曳山祭の曳山13基

曳山とは、祭礼の際に曳いたり担いだりする山車(出しもの)のことで、長浜の曳山は江戸時代の職人による伝統工芸を結集した精巧な飾金具や彫刻、当時の有名絵師が描いた絵画やヨーロッパなどで製作された幕類で彩られ「動く美術館」とも呼ばれています。

長浜には13基の曳山が伝わり、長浜の町を13に分けた山組が各曳山を所蔵しています。13基のうち長刀山は、露台上に太刀を飾る飾り山形式の曳山です。残りの12基は、前方が、子ども狂言(歌舞伎)が行われる4畳半の舞台となっており、幕で囲まれた後方は、子どもたちの楽屋になっています。また、亭(ちん)と呼ばれる2階部分では囃子(しゃぎり)を演奏します。長刀山と舞台を備えた12基のうち4基の計5基が毎年祭に出場します。



長刀山 小舟町組



青海山 北町組



月宮殿 田町組



諫鼓山 御堂前組



春日山 本町組



鳳凰山 祝町組



高砂山 宮町組



猩々丸 舟町組



壽山 大手町組



萬歳楼 瀬田町組



常磐山 呉服町組



孔雀山 神戸町組



翁山 伊部町組